進め、明日のその先へ
KUMAGAYA

令和７年度
第１回 熊谷市新庁舎建設検討委員会

令和７年８月７日

次第

日時：令和７年８月７日（木）１０時～
場所：熊谷市役所本庁舎議会棟　第１委員会室

１　開　会

２　挨　拶

３　委員紹介

４　委員長について

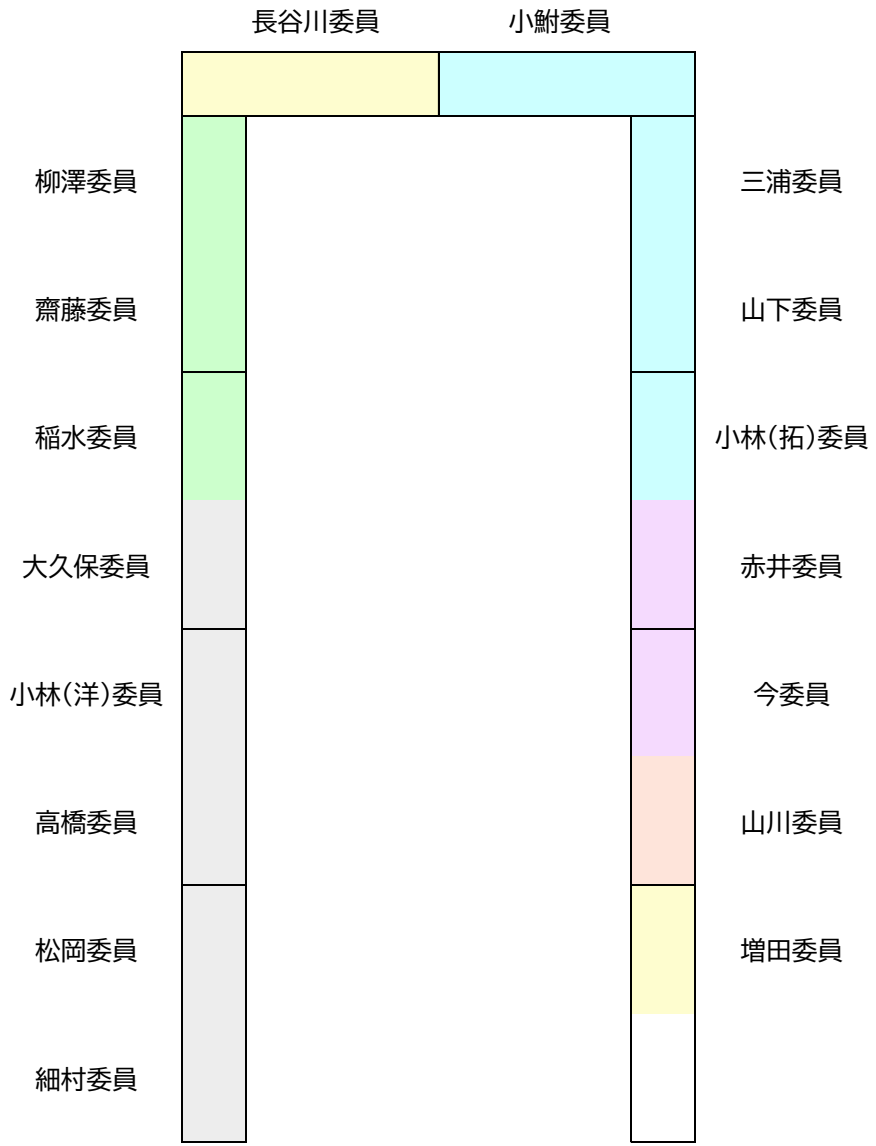
５　議　事
⑴　熊谷市庁舎整備に関すること
ア　副委員長の指名
イ　熊谷市新庁舎建設検討委員会の位置付け
ウ　熊谷市庁舎整備基本構想の振り返り
エ　熊谷市庁舎整備基本計画の進め方
⑵　埼玉県との調整に関すること
ア　熊谷市役所のフロアイメージ
⑶　その他

６　その他

７　閉　会

委員名簿

氏名(敬称略)	所属・職名	選出区分 (要綱3条4項)	備考
小鮒　賢二	熊谷市議会議長	1号	議会選出
三浦　和一	熊谷市議会議員	1号	
影山　琢也	熊谷市議会議員	1号	
山下　一男	熊谷市議会議員	1号	
小林　拓朗	熊谷市議会議員	1号	
柳澤　要	千葉大学大学院工学研究院教授	2号	外部有識者
齋藤　友之	埼玉大学シニアプロフェッサー	2号	
稲水　伸行	東京大学大学院経済学研究科准教授	2号	
大久保　和政	熊谷商工会議所会頭	3号	関係団体
小林　洋一	くまがや市商工会会長	3号	
高橋　近男	熊谷市社会福祉協議会常務理事	3号	
松岡　八起	株式会社まちづくり熊谷専務執行役員	3号	
加藤　　守	宮町連合自治会会長	3号	
細村　陽一	元町連合自治会会長	3号	
赤井　由紀子	公募市民	4号	公募市民
今　宗子	公募市民	4号	
山川　直也	埼玉県企画財政部北部拠点政策幹	5号	関係行政機関の職員
長谷川　泉	熊谷市副市長	6号	市副市長
増田　和昭	熊谷市総合政策部長	6号	市職員



※　影山委員はオンライン出席
※　加藤委員は欠席

⑴イ　熊谷市新庁舎建設検討委員会の位置付け

検討委員会の位置付け

■ 設置目的

新庁舎の建設に当たり、市民ニーズや将来の行政サービスの在り方などを多角的に検討するため、市議会、学識経験者、関係団体の代表、公募市民等から幅広く意見を求める場として設置

■ 所掌事務

・熊谷市庁舎整備基本計画の策定に関すること。

・北部地域振興交流拠点の整備に係る必要な事項の検討に関すること。

■ 委員会の位置付け

市の庁内検討に際して、専門的知見や市民・関係者の声を反映させる「重要な意見集約の場」

■ 今後の役割とプロセス

委員会での議論・提案は、市の基本方針検討の材料として活用し、今年度策定予定の基本計画に反映

⑴イ　熊谷市新庁舎建設検討委員会の位置付け

検討委員会について

熊谷市新庁舎
建設検討委員会

新庁舎建設に
関する調査
特別委員会

市民アンケート
市民ワーク
ショップ等

各種検討項目に
関する素案提示

ご意見

ご意見

ご意見

熊谷市

事務局（総合政策部北部拠点整備推進室）

**熊谷市北部地域振興交流拠点
整備庁内検討委員会**

メンバー　委 員 長：長谷川副市長
副委員長：大島副市長、総合政策部長
委　　員：各部長

分野別検討会

例えば

- 敷地活用・最大ﾎﾞﾘｭｰﾑ検討会
  都市整備部、建設部、上下水道部の関係課　等
- 集約機能検討会
  各部関係課　等
- ＤＸ推進検討会
  デジタル推進課、各部関係課　等
- 職員ワークショップ
  （窓口、働き方等）

➢ 検討委員会での検討内容等は、市議会へ報告するとともに、随時、市のホームページでも公開する予定です。

⑴ウ　熊谷市庁舎整備基本構想の振り返り

基本構想の位置付け

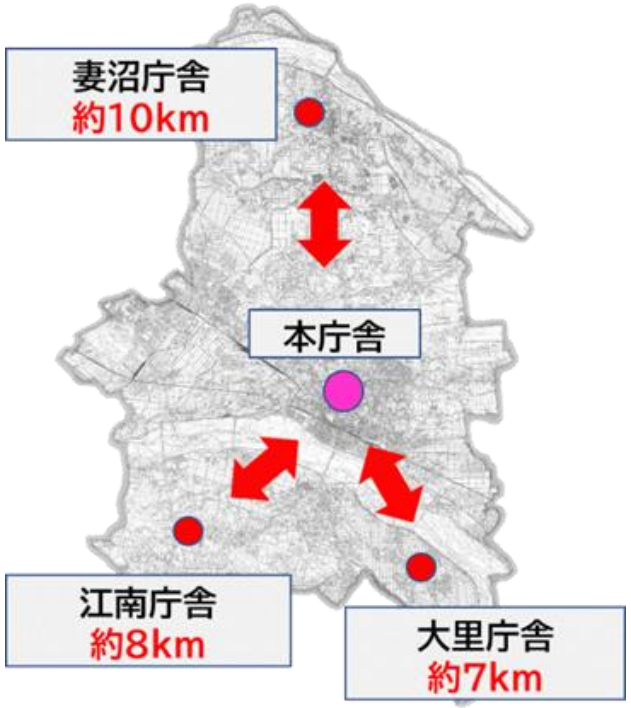
- ◆「第2次熊谷市総合振興計画後期基本計画」、「熊谷市都市計画マスタープラン」等の上位計画・関連する計画と密接な連携のもと策定
- ◆ 市議会議員、外部有識者、公募市民等で構成する熊谷市庁舎整備検討委員会及び熊谷市北部地域振興交流拠点整備庁内検討委員会において、庁舎整備の在り方等について検討
- ◆ 市民アンケート、市民ワークショップ、オープンハウス説明会、パブリックコメント等を実施し、市民意見を反映



⑴ウ　熊谷市庁舎整備基本構想の振り返り

対象となる施設

- ◆ 対象となる施設は下表のとおり本庁舎と3つの分庁舎
- ◆「熊谷市個別施設計画」においては、本庁舎更新の際は、分庁舎方式の廃止を検討
- ◆ 分庁舎における各種手続、窓口等の行政センター機能はこれまでどおり提供、その他の本部機能を本庁舎に集約



	延床面積（庁舎部分）	建築年月	本部機能【職員数】
本庁舎	12,492㎡	昭和48年3月	市長公室、総合政策部など13部局（43課）【744人】
大里庁舎	2,344㎡	昭和58年6月	都市計画課、開発審査課、建築審査課、公園緑地課 【49人】
妻沼庁舎	3,707㎡	昭和58年1月	農業政策課、農業委員会事務局【33人】
江南庁舎	3,784㎡	平成11年5月	環境政策課、環境推進課【29人】


本庁舎


大里庁舎


妻沼庁舎


江南庁舎

⑴ウ　熊谷市庁舎整備基本構想の振り返り

現状と課題・再整備の必要性

課題	内容
本庁舎の老朽化	■ 建築後５２年が経過 ■ 建物の外装・内装、設備機器・設備配管の劣化による機能低下
執務空間・窓口の狭あい化	■ 行政需要増大による業務量増加による執務空間不足 ■ 通路の狭さ、収納不足、打合せスペースの不足 ■ 市民アンケートでは、混雑、待合スペースの狭さ、プライバシー対応の不十分などの指摘あり
バリアフリーへの対応	■ 建物の狭あい化や建物の構造上の問題から、スロープ、授乳室、バリアフリートイレなど十分な数と広さを確保できない等の課題
災害に対する備え	■ 浸水リスク ■ 災害時の機能確保
まちづくりへの貢献	■ 庁舎再整備による周辺への波及効果の発揮

現在の本庁舎の長寿命化では、解消できない課題も多く、ライフサイクルコストの観点からも、建て替えによる新庁舎の整備が妥当

⑴ウ　熊谷市庁舎整備基本構想の振り返り

進め、明日のその先へ KUMAGAYA

基本理念・基本方針

新庁舎の検討・整備を進めるための基本的な考え方として、新庁舎の基本理念及び基本方針を以下のとおり定めています。

基本理念

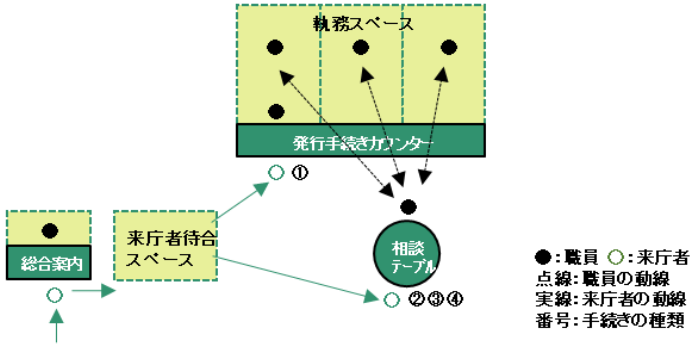
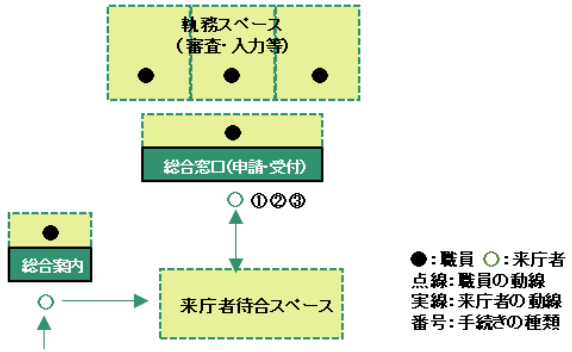
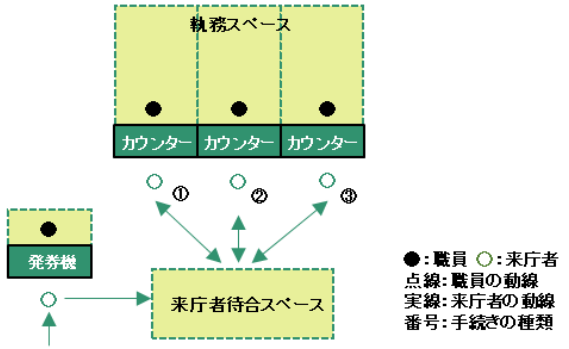
つながる	人々が出会い交流が広がり、新たな価値を創造するための拠点づくり
はぐくむ	発展につなげる活力にあふれ親しみやすい場の創出
ま も る	災害に強いまちづくりと持続可能な環境への貢献

基本方針

誰にでも利用しやすい便利な庁舎	分散する本部機能を集約化するとともに、届出、申請や相談などの窓口サービスをストレスなく利用できる、便利で誰にでも利用しやすい庁舎
誰にでも優しい庁舎	バリアフリーに配慮したユニバーサルデザインを導入し、訪れる人の誰もが支障なく利用できる庁舎
多様な人が集まり活力と魅力のあふれる庁舎	庁舎の本来機能に加え、熊谷市の特性を生かした、市民が訪れたくなり、多様な人が集まる魅力的な庁舎
機能的で柔軟な庁舎	市民に充実した行政サービスを提供するため、先端の建築技術、ICTを取り入れた高機能な庁舎 サービスを支える職員の執務環境を整え、今後の行政需要の変化にフレキシブルな対応ができる庁舎
環境に配慮した庁舎	省エネルギー化や省資源化の推進、自然エネルギーなどの積極的な活用を通じて環境負荷の低減に寄与する地球にやさしい庁舎
安全・安心な庁舎	耐震性を確保し、安心して利用できる建物とするとともに、災害発生時には、災害対策活動の中枢として、市民の生活を守り、迅速な支援や復旧活動を行うことができる様々な機能を備えた庁舎

⑴ウ　熊谷市庁舎整備基本構想の振り返り

窓口方式

	職員派遣方式	総合窓口方式	ワンフロアストップ方式
特徴	部署は別々のまま、各部署の窓口を共通化。発行業務はカウンター、相談業務はテーブルで対応する。来庁者は動かず、手続きに応じて各部署の職員が交代で対応 	複数の部署を集約した総合窓口を新設。ひとつの部署で複数の手続きを受付 	ワンフロアに関係部署を集約 
メリット	● 来庁者が移動不要 ● 部署ごとの機構や事務分掌を、従来の窓口のまま導入が可能 ● 各部署の窓口が共用のため、混雑時でも空いている窓口を効率的に活用でき、総合窓口方式よりも省スペース ● 職員が交代する際に、自然と申し送りをするため、来庁者が同じ説明をしないで済む。	● 来庁者の移動が少ない。 ● 関連する手続きを続けて対応するため、来庁者の待ち時間が短縮 ● 部署が集約されるため、ワンフロアストップ方式よりも省スペース ● 部署が集約されるため、組織内の連携が強まる。	● 来庁者のフロア移動（上下移動）が不要になる。 ● 部署ごとの機構や事務分掌を、従来の窓口のまま導入が可能 ● 移行による職員の負担が最も小さい。 ● 来庁者が多く、混雑しやすい場合でも、住民が流れていくため、滞留しにくい。
適した窓口・庁舎	● 相談受付や説明等、手続きに時間を要する窓口 ● 足が不自由な方等、移動が難しい方が比較的多く訪れる窓口 ⇒事例 千葉県市川市	● 簡易な手続きが多い窓口。 ● 付随した手続きがある等、関連性の高い窓口 ⇒事例 北海道北見市	● 来庁者が多い窓口 ● 相談受付や説明等、時間を要する手続き ● 十分な待合スペースや通路が確保できる庁舎 ⇒事例 東京都渋谷区

出所）東京都デジタルサービス局「区市町村における庁舎建設等を契機としたDX推進事業」（https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/business/kushichoson-dx/building-dx）を元に熊谷市作成

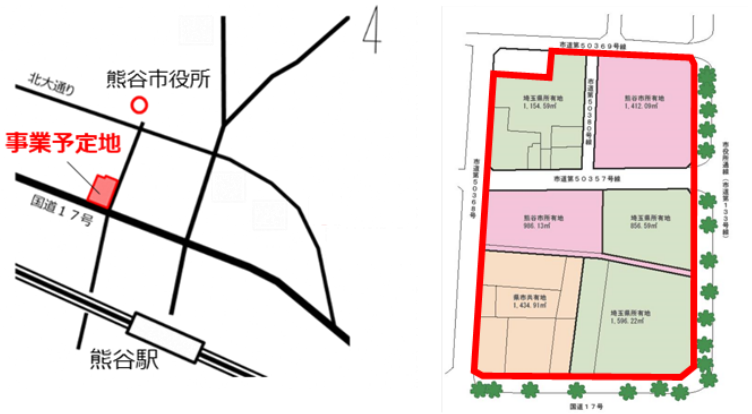
⑴ウ　熊谷市庁舎整備基本構想の振り返り

施設規模

3種類の面積積算手法（総務省地方債同意等基準、他自治体事例、積み上げによる検討）により試算を行った結果から、基本構想においては、本庁舎の延床面積を21,000～22,000㎡と想定

整備エリア

現在の本庁舎の敷地及びコミュニティひろばの2か所を候補とし、整備方法を3パターン想定して評価を行い、比較衡量した結果、コミュニティひろばを最有力の整備候補地と決定

所在地	熊谷市本町二丁目地内、国道17号と市役所通りの交差点の一角
面積	8,153㎡（県：4,325㎡、市：3,828㎡）※市道部分を含む
整備場所	
整備内容	【熊谷市】熊谷市役所 【埼玉県】産業振興施設、埼玉県立高等看護学院、新埼玉県立図書館、埼玉県立病院サテライト

- コミュニティひろばでは、埼玉県が北部地域振興交流拠点の整備を検討
- 新庁舎は当該拠点に整備することになるため、施設規模・導入機能等については、埼玉県と調整しながら検討
- 新庁舎整備の今後のスケジュールは、埼玉県が検討を進めている北部地域振興交流拠点の規模等を踏まえ、基本計画において精査

⑴エ　熊谷市庁舎整備基本計画の進め方

全体のスケジュール（案）



⑴エ　熊谷市庁舎整備基本計画の進め方

基本計画の内容（案）

基本計画項目	内容
基本計画の位置付けと背景	• 計画の目的と役割 • 策定体制と経緯 • 関連施策・制度との関係　ほか
導入機能と施設の方向性	• 導入機能の整理 • 複合機能の可能性　ほか
必要諸室と施設規模	• 諸室リストと特記仕様の整理 • 面積算定の考え方と積算結果　ほか
配置計画	• 敷地条件と周辺環境 • 災害リスクの管理と対応方針 • 建物配置の基本的考え方　ほか
施設計画	• ゾーニングとフロア構成の方針 • 構造・設備・環境性能の考え方　ほか
整備手法・事業費	• 整備手法の検討 • 概算事業費　ほか
今後の進め方	• 整備に向けたスケジュール • 市民参加・対話の進め方と仕組み　ほか

⑴エ　熊谷市庁舎整備基本計画の進め方

令和７年度検討スケジュール（案）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新庁舎建設検討委員会					● 第１回 8/7			● 第２回 11/18		● 第３回 1/16		● 第４回 (予定)
市議会への報告					●			●		●		●
主な検討スケジュール	→ 必要面積・導入機能精査、施設機能（フロア計画・ゾーニング等）大枠検討					→ 施設機能（フロア計画・ゾーニング）詳細検討、設計与条件整理						
庁内アンケート・ヒアリング				→								
市民アンケート				→								
市民ワークショップ					● 第１回 8/3	● 第２回 9/28		● 第３回 11/9				
敷地検討			● 道路交通量調査			→ 警察協議	→ 周辺市道への影響に係る近隣住民説明					
基本計画										● 素案	→ パブコメ	● 策定・公表

⑴エ　熊谷市庁舎整備基本計画の進め方

検討委員会の各回議題（案）

	第1回 （8/7）	第2回 （11/18）	第3回 （1/16）	第4回 （未定）
想定議題	• 検討委員会の位置付け • 基本構想振り返り • 基本計画の進め方 • フロアイメージ	• 各導入機能一覧 • 窓口・執務空間等の各種方向性 • フロア計画・ゾーニング（予定）	• 基本計画案の説明及び質疑	• 基本計画の決定（書面開催想定）